

【昭和女子大学源氏物語シリーズ 企画第2弾】

女性文化研究所公開シンポジウム

「男女共同参画

・女性活躍の時代に向けて

—源氏物語・紫式部に学ぶ—」



2024年2月10日（土）午前10時～12時

Zoom オンラインでご参加ください

参加方法：<https://forms.gle/6m2NRztqno9gh7d7A>

申込締切：2024年2月7日（水）正午



坂東真理子 「男女共同参画・女性活躍の時代に向けて」

胡 秀敏 「貼交屏風から見る源氏物語の享受」

家塚 智子 「紫式部に対するまなざし—賢・虚・聖—」

開会挨拶：金尾 朗（昭和女子大学学長）

司会：武川 恵子（昭和女子大学女性文化研究所所長）



坂東 真理子

昭和女子大学総長



胡 秀敏

昭和女子大学名誉教授

博士（文学）

専門：日本平安文学



家塚 智子

宇治市源氏物語ミュージアム  
館長

博士（文学）

専門：日本中世史



源氏物語絵貼交屏風（昭和女子大学図書館所蔵）

上：空蟬／中：野分／下：橋姫

【開催趣旨】1999年に男女共同参画基本法が制定され、四半世紀を迎えようとしている。この間、さまざまな意識啓発や取組がなされてきたが、男女共同参画社会の実現とは程遠い状況と言え、一方、歴史を紐解くと、平安時代には女性に対する不平等もあった中で、文化・政治の場である朝廷へ女性が出仕し、そこでは女性が男性とともに一定の地位を持ち大きな役割を果たしていたと言われる。

そこで、本シンポジウムでは世界からの評価も高い『源氏物語』やその作者である紫式部に焦点を当て、平安時代の女性の生き方、女性に対する見方など、現代に通じることや現代において改めて学ぶべきことを明らかにする。その上で、トークセッション（質疑応答）を通して、更なる男女共同参画・女性活躍の時代に向け、今後の政策、教育、労働、生活、男女のあり方など、登壇者も含めて様々な角度から討議する。

〈予告〉源氏物語シリーズ企画第3弾

2024年3月23日（土）

（主催：昭和女子大学日本語日本文学科）



主催：昭和女子大学女性文化研究所

[iwc-admi@swu.ac.jp](mailto:iwc-admi@swu.ac.jp)